



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 ヒラキ株式会社  
コード番号 3059

上場取引所 東

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名)取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治 TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,548	△4.3	284	△30.3	142	△50.2	90	△42.3
24年3月期第2四半期	11,024	△3.5	408	81.1	285	240.3	156	282.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 17百万円(△75.7%) 24年3月期第2四半期 72百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18 63	18 45
24年3月期第2四半期	32 51	32 16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,528	3,978	24.1
24年3月期	15,920	3,989	25.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,978百万円 24年3月期 3,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
25年3月期	—	10 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	△2.1	620	△14.1	500	△15.2	280	—	58 33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、 除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,155,600株	24年3月期	5,061,600株
25年3月期2Q	274,600株	24年3月期	261,500株
25年3月期2Q	4,850,837株	24年3月期2Q	4,818,167株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられ、また、欧州政府債務危機等を巡る不確実性は引き続き高い状況にあり、景況感は依然として先行き不透明な状況にあります。

靴業界におきましても、個人消費がおおむね横ばいの状況のなか、依然節約志向の傾向にあり、また、盆明け以降の残暑の影響により秋物商品が苦戦するなど引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、引き続き原点に立ち返り当社グループの強みである「靴の強化」に取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、商品開発プロセスの短縮化とあわせて、店舗靴売場における売れ筋情報収集の強化、当社開発商品の評価体制の強化、生産体制（協力工場管理）の強化を通じて商品力の向上に取り組み、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」をお届けできるよう開発商品を順次投入いたしました。具体的には、今年流行のカラフルなカラーを取り揃え、屈曲性のよい新型ソール（靴底）で、大人から子供まで幅広いサイズを展開した『499円スニーカー』が15万足近い受注となっているほか、女性向けに人気のバレエタイプにフィット性を重視した新しい形状の『609円カジュアルシューズ』などを販売しており、デザイン・機能・価格でお客様に満足いただける商品の開発に取り組みました。また、新規顧客の獲得対策としまして、WEBサイトにおける商品カテゴリーやサイズ検索機能を強化したことに加え、キーワード、カラーなどによる検索機能の強化、商品レビュー情報の充実などお客様の利便性向上に取り組んでおります。

ディスカウント事業におきましては、引き続き「靴の強化」に取り組むとともに、競合店との差別化に向けた新規の取引先の開拓に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間におきまして新たに約40社との新規取引を開始し、岩岡店については「日本最大級の靴売場」、各支店については「圧倒的な地域一番の靴売場」を中心とした魅力的かつ価格競争力のある商品を取りそろえたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての店舗づくりに取り組んでまいりました。また、従来からの『特価大商談会』を定期的で開催し、お取引先との協力関係のもと、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」をお届けできる商品の供給体制の構築に努めてまいりました。

このような取り組みにもかかわらず、通信販売事業での有効顧客数の低迷が影響し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、105億4千8百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

利益面につきましても、引き続き徹底したローコストオペレーション、経費削減に取り組みましたが、売上高の減少を賄うまでにはならず、当第2四半期連結累計期間における営業利益は2億8千4百万円（前年同四半期比30.3%減）、経常利益は1億4千2百万円（前年同四半期比50.2%減）、四半期純利益は9千万円（前年同四半期比42.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、残暑の影響もあり当第2四半期連結会計期間において中心となる9月発行カタログの秋物新商品が低調な推移となり、また、新商品の海外からの入荷遅れも重なり、総じて厳しい状況が続きました。この結果、売上高は49億6千7百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。利益面では、カタログ製作費用の削減、物流業務の効率化に引き続き取り組み、収益改善に努めましたが、売上高の減少が影響し、セグメント利益（営業利益）は5億1千5百万円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、「靴の強化」や新規仕入先の開拓に取り組んだ結果、当第2四半期連結会計期間は、売上高は回復基調にあります。第1四半期連結会計期間での落ち込みを取り戻せず、前年同四半期累計期間の売上高を確保するにはいたりませんでした。この結果、売上高は53億1千3百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。利益面では、靴の売上構成比率が高まったことによる粗利率の改善、人件費を中心とした効率化による経費削減などにより損失幅は縮小し、セグメント損失（営業損失）は1千7百万円（前年同四半期は2千7百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。なお、平成24年9月7日開催の取締役会において、氷上山南店（兵庫県丹波市）の閉店を決定し、平成24年10月28日をもって閉店いたしました。これに係る損失は特別損失に計上しております。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、既存のOEM販売先に加えて新たなOEM販売先の獲得に取り組みましたが、第1四半期連結会計期間における既存OEM販売先の春夏商品の受注減少が当第2四半期連結累計期間でも影響し、売上高は2億6千7百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益（営業利益）は1千8百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、7億1千万円増加し、89億2千5百万円となりました。これは、現金及び預金が7億4千8百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億2百万円減少し、76億2百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億1千5百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、6億7百万円増加し、165億2千8百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、7億2千1百万円減少し、44億円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億9千万円増加し、短期借入金が6億円、未払法人税等が2億9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13億4千万円増加し、81億4千9百万円となりました。これは、長期借入金が13億3千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、6億1千9百万円増加し、125億5千万円となりました。

## ③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1千1百万円減少し、39億7千8百万円となりました。これは、利益剰余金が4千2百万円増加し、繰延ヘッジ損益が7千1百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント低下し24.1%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ6億4千7百万円増加し、22億1千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億5千6百万円（前年同四半期は2億3千万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1億3千7百万円の計上、たな卸資産の増加1億8百万円、仕入債務の減少1億7千4百万円、法人税等の支払額2億4千万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億1千8百万円（前年同四半期は2千万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出2億円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、10億7千1百万円（前年同四半期は9億7千1百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入28億円、短期借入金純減少額6億円、長期借入金の返済による支出10億7千8百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想に関しましては、平成24年9月7日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,567,178	2,315,304
受取手形及び売掛金	1,098,422	974,097
有価証券	—	100,000
商品	4,968,187	5,122,450
未着商品	177,650	133,742
貯蔵品	19,310	17,845
繰延税金資産	157,668	176,659
その他	250,337	105,462
貸倒引当金	△23,354	△20,080
流動資産合計	8,215,399	8,925,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,969,361	3,853,459
土地	3,321,205	3,321,205
その他（純額）	239,572	244,742
有形固定資産合計	7,530,139	7,419,407
無形固定資産	64,676	50,938
投資その他の資産	110,075	132,351
固定資産合計	7,704,891	7,602,698
資産合計	15,920,291	16,528,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,148,593	974,670
短期借入金	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,921,455	2,311,827
未払法人税等	251,325	42,012
賞与引当金	159,649	162,934
役員賞与引当金	—	3,562
ポイント引当金	34,097	34,634
店舗閉鎖損失引当金	—	4,640
その他	1,006,693	866,329
流動負債合計	5,121,814	4,400,611
固定負債		
長期借入金	6,585,975	7,917,138
退職給付引当金	75,174	82,550
環境対策引当金	15,779	13,568
資産除去債務	29,303	29,569
その他	102,859	106,679
固定負債合計	6,809,092	8,149,506
負債合計	11,930,906	12,550,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	437,480	450,452
資本剰余金	1,136,112	1,148,990
利益剰余金	2,526,942	2,569,302
自己株式	△136,747	△143,552
株主資本合計	3,963,787	4,025,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,677	42
繰延ヘッジ損益	25,501	△46,079
為替換算調整勘定	△1,582	△1,092
その他の包括利益累計額合計	25,596	△47,129
純資産合計	3,989,384	3,978,062
負債純資産合計	15,920,291	16,528,180



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,024,434	10,548,253
売上原価	6,722,465	6,491,764
売上総利益	4,301,969	4,056,488
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,162,053	1,139,599
貸倒引当金繰入額	14,735	6,230
ポイント引当金繰入額	22,512	24,104
給料手当及び賞与	1,050,605	1,052,548
賞与引当金繰入額	161,806	162,934
その他	1,482,123	1,386,433
販売費及び一般管理費合計	3,893,836	3,771,849
営業利益	408,132	284,638
営業外収益		
受取利息	1,261	2,798
受取配当金	817	899
その他	23,557	18,800
営業外収益合計	25,636	22,498
営業外費用		
支払利息	75,171	68,208
為替差損	69,894	96,246
その他	3,463	499
営業外費用合計	148,528	164,955
経常利益	285,240	142,182
特別損失		
固定資産除却損	133	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	4,640
特別損失合計	133	4,640
税金等調整前四半期純利益	285,107	137,542
法人税、住民税及び事業税	159,437	34,144
法人税等調整額	△30,966	13,037
法人税等合計	128,471	47,181
少数株主損益調整前四半期純利益	156,636	90,360
四半期純利益	156,636	90,360

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	156,636	90,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△1,635
繰延ヘッジ損益	△84,587	△71,581
為替換算調整勘定	776	490
その他の包括利益合計	△83,932	△72,726
四半期包括利益	72,703	17,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,703	17,634
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	285,107	137,542
減価償却費	179,051	175,325
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,712	△3,274
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,649	3,285
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,626	3,562
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	744	536
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	4,640
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,081	7,376
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,210
受取利息及び受取配当金	△2,078	△3,698
支払利息	75,171	68,208
為替差損益 (△は益)	54,278	52,588
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,531	124,976
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130,407	△108,881
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,103	△174,943
その他	△33,624	△135,977
小計	357,677	149,057
利息及び配当金の受取額	2,143	2,909
利息の支払額	△73,857	△68,194
法人税等の支払額	△55,030	△240,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,932	△156,850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△200,600
有形固定資産の取得による支出	△19,022	△16,178
投資有価証券の取得による支出	△1,503	△1,563
その他	244	△226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,881	△218,568
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△600,000
長期借入れによる収入	100,000	2,800,000
長期借入金の返済による支出	△992,890	△1,078,465
自己株式の取得による支出	△12,438	△6,805
ストックオプションの行使による収入	—	25,850
配当金の支払額	△48,386	△47,965
その他	△17,950	△21,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△971,665	1,071,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53,743	△48,441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△815,358	647,526
現金及び現金同等物の期首残高	2,352,030	1,565,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,536,672	2,212,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,374,920	5,375,346	274,168	11,024,434	—	11,024,434
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,374,920	5,375,346	274,168	11,024,434	—	11,024,434
セグメント利益又は損失 (△)	668,268	△27,679	24,189	664,779	△256,646	408,132

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△256,646千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,967,295	5,313,920	267,037	10,548,253	—	10,548,253
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,967,295	5,313,920	267,037	10,548,253	—	10,548,253
セグメント利益又は損失 (△)	515,802	△17,154	18,813	517,460	△232,821	284,638

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,821千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。